

「無症候性総胆管結石治療の現状調査」について

加古川中央市民病院消化器内科では、現在、入院および外来通院中の総胆管結石の患者さんを対象に研究を実施しております。研究内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

胆石症診療ガイドライン2021において総胆管結石は存在が確認されれば、内視鏡治療が推奨されています。一方で、無症候性総胆管結石は、有症候性と比較してERCP後膵炎（PEP）が有意に多いという報告が複数存在する。今回、今後の治療に必要な指標を導くために、当院における無症候性総胆管結石治療の現状を調査します。

【研究期間】

研究期間：病院長承認日 ～ 2030年 3月 31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2020年9月から2023年9月までに、ERCPで治療を行った未処置乳頭の総胆管結石症患者さんの診療録より下記の情報を収集いたします。

基本情報：年齢、性別、過去の手術歴、喫煙歴、飲酒歴、症状の有無、入院日数

治療情報：胆管径、結石径、結石数、急性胆管炎重症度、胆管挿管の手法、処置内容、結石除去までの処置回数、処置時間、偶発症、血液検査データ

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できない研究対象者識別番号リスト作成：無
個人情報を外部機関へ提供しない。

研究対象者個人が識別されないように成果を報告する。

【試料・情報等の保存・管理担当者】

加古川中央市民病院 消化器内科 平田 祐一

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報をういており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

研究利用する試料および情報の保管担当者名：岡部純弘

保管場所：医局の施錠可能な場所

保管期間：少なくとも本研究の終了報告から 5 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過したいずれか遅い日までの期間
廃棄方法：復元不可能な状態で廃棄

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さまのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者さまのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消した時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合は廃棄できません。また、同意を取り消したことにより患者さまが診療上の不利益を被ることは一切ございません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 消化器内科
研究責任者名 平田祐一
連絡先：079-451-5500